



笑・昇・翔

タイム
～大夢を仲間とともに～



令和7年5月30日（金）

＜ どうなるかより、どうするか ＞

1980年代に大ヒットした『バック・トゥ・ザ・フューチャー』というSF映画を知っていますか。



科学者ドクが開発した自動車型のタイムマシンで、もし過去に戻れるとしたら…頭に浮かぶ「あのとき」がみんなの中にもきっとあるように、生きていると「やり直したい」と思う出来事が山のように起こります。反対に、もし未来へ行けるなら、やっぱりテストの問題を見てきて、ラクして100点とっちゃおう的なことも考えるでしょうか。

でも、現実にはタイムマシンはないので、私たちはときに失敗や苦労を経験し、それを受け入れながらまた前を向いて、まだ見ぬ未来に思いをはせて生きている。自分の未来（進路）にこれからどんな展開が待っているのか、今とても気になっていると思いますが、この映画シリーズの最後の作品で、科学者ドクは主人公の青年にこんなことを言っています。「つまりだな、君の未来はまだ何も決まっていないということ。誰のでもそうだ。未来は自分で切り拓くものなんだ。だからがんばるんだよ。」と。

どうなるかより、どうするか。そのことをときどき思い出して、自分の選択に目を向けるきっかけにしてみたいと思います。いまから、ここから。

【

＜ スローガン決定！ ＞

修学旅行まであと3週間。万博の行動計画が始まり、ちょっとずつ雰囲気が高まってきたところ。最近の報道では、かなり混雑している情報であったり、人気のパビリオンの情報も分かってきたりするなど、修学旅行時には、平日とはいえさらに入場者数が増加するかもしれません。西ゲート入場10分後から可能となる「当日予約」を上手く駆使できるとよいですね。希望のパビリオンを上手に1・2個回りつつ、その時間までの間にふらーっと寄れそうな「自由入場」のパビリオンも見えていくこともよいかと思います。スローガンも決まりました。



ソースより濃い思い出を

大阪秘伝のソースにも負けない、特別に濃厚な深い学びや思い出をこの修学旅行で創っていきましょう！

【修学旅行におけるWAONの使用について】

- Q 交通系ICカード（manaca等）は万博のみで使用可能で、USJでは使用できないという話を聞きましたが、WAONは万博でもUSJ（一部店舗を除く）でも使用できるようです。持参OKですか？
- A 前払い式の交通系ICカード or 前払い式のWAONの使用をお願いします。ただし、オートチャージ機能なし・クレジットカード機能なしのカードです。また、お小遣いの上限が決まっていますので、当日はポイント等を利用しないようにご家庭でもご指導ください。よろしくお願いいたします。

来週の6月2日（月）にしおりを配布します。早めの準備をー！



≪ 予約済のパビリオン「未来の都市」とは ≫



【概要】

『未来の都市』パビリオンは、2025 年大阪・関西万博の目玉となる大規模な展示施設で、全長約 150 m、展示面積約 3,300 ㎡の広さを誇ります。このパビリオンは「幸せの都市へ」をテーマに、未来社会のビジョンを体験できる 15 のアトラクションで構成されています。

【外観デザイン】

外装には世界初の「酸化チタン光触媒PVCメッシュ膜」を採用し、白い2重構造でミストを利用した幻想的な雰囲気を演出しています。

【展示構成】

パビリオンは「共通展示」と「個別展示」の2つのゾーンに分かれ、来場者に未来の都市像を提案します。

【バーチャル未来の都市】

アバターを通じて未来の都市を散策し、テクノロジーや住民との対話を体験できます。

【15 のアトラクション】

「未来との対話」や「Society5.0 と未来の都市」など、各企業・団体が協力し、未来の都市生活をシミュレーションできます。

【目指す未来像】

このパビリオンでは、Society5.0 の理念に基づき、デジタルとフィジカルが融合した社会の実現を目指しています。「誰一人取り残さない」社会を築くために、技術と人間の調和を探索します。

※ Society5.0（ソサエティ 5.0）とは……

日本が提唱する未来社会のビジョンで、超スマート社会とも呼ばれる。簡単に言うと、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ロボット、ビッグデータなどの先端技術を活用し、現実世界（フィジカル空間）と仮想世界（サイバー空間）を高度に融合させることで、人々の生活の質を向上させ、経済発展と社会課題の解決を同時に実現する社会のこと。

（Society1.0＝狩猟社会 Society2.0＝農耕社会 Society3.0＝工業社会 Society4.0＝情報社会）

未来の日本に思いをはせ、あなた自身が世界を創っていく人間に。



